

科目名	臨床評価学セミナー（作業療法）	担当教員	三宅 環※ 山田 恭平※ 佐々木 努※ 久保 勝幸※ 松田 竜幸※ 佐藤 拓也※ 榮 志津江※ 泊り由希子※ ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	-----------------	------	---

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
作業療法学専攻	専門科目	選択	3年次	前期	1単位	演習
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR32ABCDE	①、②、③、④					

科目概要	臨床評価学実習に向けて学生同士の小グループ（模擬患者役、療法士役、実施内容確認役）に分かれ、講義内容に記された項目を通して临床上必要な知識・技術・態度について学習し、各自に対し試験（客観的臨床能力試験：OSCE）を実施する。また、これまでの臨床実習と同様に、職業人としての常識的行動や責任ある行動、対象者や病院施設のスタッフとの望ましい関係、医療におけるチームワーク、協業について再度理解を深める。
学習目標	① 実習に必要な態度・姿勢について理解する。 ② 実習領域の評価に関連する知識を復習する。 ③ 実習領域の評価に関連する実技を復習する。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	演習1	実習に必要な態度・姿勢	実習に必要な態度と姿勢を理解する。	担当教員 全員
2	演習2	実習領域の評価に関連する知識	実習領域の評価に関連する知識を復習する。	担当教員 全員
3	演習3	〃	〃	担当教員 全員
4	演習4	〃	〃	担当教員 全員
5	演習5	〃	〃	担当教員 全員
6	演習6	〃	〃	担当教員 全員
7	演習7	〃	〃	担当教員 全員
8	演習8	実習領域の評価に関連する実技	実習領域の評価に関連する実技を復習する。	担当教員 全員
9	演習9	〃	〃	担当教員 全員
10	演習10	〃	〃	担当教員 全員
11	演習11	〃	〃	担当教員 全員
12	演習12	〃	〃	担当教員 全員

13	演習 13	〃	〃	担当教員 全員
14	演習 14	〃	〃	担当教員 全員
15	演習 15	〃	〃	担当教員 全員
評価方法		客観的臨床能力試験（OSCE）100%		
課題に対するフィードバック		講義、演習を通してフィードバックを行う。 演習中に理解できなかった課題については、個別にオフィスアワーで対応する。		
教科図書		特になし		
参考図書		特になし（演習に必要な資料を随時配布する）		
学習の準備		臨床評価学実習に向けて、これまで学習した内容を復習すること（45分）		
オフィスアワー		講義当日の16時30分～17時30分、講義翌週当日の16時30分～17時30分 ほか各担当教員から連絡する。		
担当教員欄に※印を付した教員の 実務経験		担当教員の実務経験を基に、臨床評価学実習に向け、知識、技術、態度面も含めて客観的臨床能力試験（OSCE）を実施し、臨床見学実習と同様に、職業人としての常識的行動や責任ある行動、対象者や病院施設のスタッフとの望ましい関係、医療におけるチームワーク、協業について実践的な指導をする。		